



令和6年 3月1日

隣近所支え合い、住んで良かった朝陽地区！

発行 朝陽地区社会福祉協議会
共催 朝陽地区住民自治協議会
社会福祉部会
長野市大字北尾張部226-9

令和5年度 活動を振り返って

社会福祉部会長 高田 知男

本年度は、各地区での居場所活動が花開いた年になりました。朝陽地区の居場所づくりの活動は、朝陽社協が中心となるふれあいの旅、まめカフェ・認知症家族の会、男性の地域デビュー事業、おやこ広場「にこにこ」等の各事業、地区福祉推進員さんが中心になってのお茶のみサロン、はつらつ健康体操クラブ活動等が活発になりました。また、各地区で立ち上がった有志の皆さんによる居場所づくり活動がそれぞれの得意とする力を発揮して居場所の輪が広がったと思います。これから計画している居場所活動もあり、令和6年度も皆様と一緒に活動を楽しみたいと思います。

令和5年度社会福祉大会アンケート結果

アンケートのQ4からQ7までは記入式でした。いろいろなご意見を頂きました。すべてはご紹介できないので、数件をご紹介します。

Q4 「どんな居場所がほしいですか？」

- 歌がみんなで歌えるところ
- まったりおはなしできるところ
- コーヒーが飲めるところ
- 軽く一杯楽しみながら、話せる場所
- 誰もが集える、居心地の良い場所
- 好きなこと、得意なことを通じ、ほっこりできる場所
- 困りごとに共感、対応してもらえる安心できる場所

Q5 「今日、印象残ったこと、気づき、深まったこと」について

- 地区ごとにいろいろな居場所があってびっくり
- みんな元気があるパワーを感じる
- 模造紙の発表・ブース説明よかった
- 朝陽地区の力を感じた
- たくさんの場所でたくさんの人が活動していることを知った、つながりバンザイ

Q6 「これから活かせそうなこと」

- イベントに頼るのではない居場所
- 子どもと高齢者の交流の場所
- 助成金の検討、活用
- ゆっくり生きていく
- 地域に居場所がたくさんあることを周囲に伝えたい。自分も体験したい
- 場所づくり、協力したいと思います

Q7 「質問・意見・感想」

- 若い人の参加が少なかった、大きな課題
- 回覧版よりSNSやネットを活用してほしい
- 居場所づくり世代を超えて必要とされている

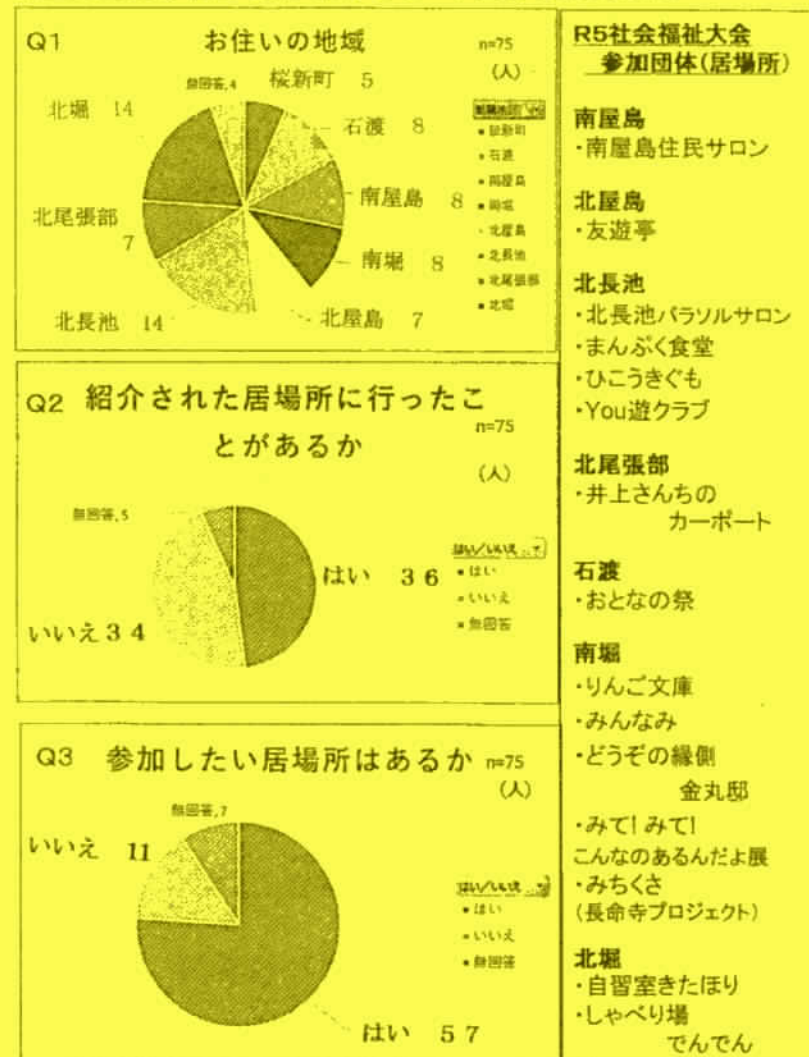
地域の中で顔が見える居場所やご近所とのつながりは、日常生活で必要なものです。

災害時は、より地域でのつながりの強さを求められます。社協は今後とも、朝陽の各地域のつながりづくりを住民の皆様と共に進めてまいります。

※各地区の居場所の詳細は社協事務局へお問い合わせください。

令和5年度社会福祉大会アンケート結果

昨年11月11日開催した社会福祉大会のアンケートをまとめました。参加者141名アンケート回答75名(53%)



令和6年1月～2月の活動

男性介護者のつどい～☆～☆～☆～

1月10日(水)に「おまめ喫茶そいてい」にて開催いたしました。日頃の介護に関する悩みや心配ごと、災害時や身近な話も含め、朝陽・大豆島両地区のケアマネージャーお二人に相談にのっていただきました。

ボランティア交流会～♡～♡～♡～♡～

2月1日(木)14団体29名の参加によるボランティア研修・交流会を開催いたしました。

長野市ボランティアセンターの小野貴規氏の「ボランティアのネットワークづくりをめざそう」をテーマとした講話と、参加団体の意見交換を行いました。それぞれの地域で活動中の団体が一堂に会し、和やかな交流会でした。今後の活動のひろがりも期待しています。



男性の地域デビュー促進事業

コーヒーの淹れ方と楽しみ方 講座

2月14日(水)朝陽公民館調理室で講師に大澤優さん(GOOD TIME TRAILER店長)を迎え、16名で開催。参加者は美味しいコーヒーの淹れ方と楽しみ方を学びました。今回のスイーツは三陽中3年3組と店が食品ロスを考え共同開発したプリンでした。

参加者の声

- ①皆で淹れ方を学びながら、ゆっくりと飲むコーヒーは寛げた。こういう時間が大切。(石渡)
- ②自分に合うコーヒーの濃さ、淹れ方を知り、今後は楽しみです。(南堀)
- ③今までの淹れ方が違ってびっくり。今日習った淹れ方で美味しいコーヒーを入れたい。(北長池)



地域たすけあい事業～朝陽福祉コーナー

長野市全地区で実施されている地域住民参加型有償在宅福祉サービス「地域たすけあい事業」とは地域にお住いの住民の皆さんの協力を得ながら「お互いさま」の気持ちで支え、たすけあえる地域づくりを進めるしくみで、高齢の方や障がいの方等に家事援助と福祉自動車による移送サービスを行っています。



□家事援助サービス(1回1時間500円)

掃除・ゴミだし等高齢者の生活の困りごとのサポートです。

□福祉自動車移送サービス(1回600円)

公共交通機関の利用がむずかしい、歩行困難な方をご自宅から医療機関への通院等に限定し送迎をしています。

協力員 随時募集中 !!

気軽にできる身近なたすけあいの活動です。協力員は有償ボランティアで、活動回数に応じて協力費が支払われます。

あなたの可能な日・時間帯で調整します。家事援助は熱意がある方であれば年齢や経験は問いません。福祉移送は普通免許をお持ちの方で事前講習の受講をお願いしています。



朝陽福祉コーナー

お問い合わせは 026-241-3162 (近藤)

今回のコーヒー講座の参加者の方々から「地域で「珈琲サロン」を計画したい」という声がありました。新しい居場所が始まりそうです。

社協だより・事業等のご意見、
お問い合わせは
朝陽地区社会福祉協議会

事務局:電話213-6170 まで
メール:j-asahi1906@orion.ocn.jp